



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2022 **9** 月号
Vol.139
毎月1回発行(通巻139号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.JMMPA.jp/>

第11回
全国医療経営士
実践研究大会
**参加
受付中!**

明日からの行動が変わる! 全国大会の魅力を確認!

昨年の大会に続いて完全WEB開催となる第11回全国医療経営士実践研究大会。年に一度の医療経営士の大イベント、まだ参加したことがないという方に、その魅力を改めてお伝えする。

「実践」につながる内容が明日からの働き方を変える医療経営士の全国大会における最大の特長といえ、現場ですぐにでも実践できるノウハウを学べることだろう。病院の経営部門の最前線で活躍している医療経営士から、具体的な取り組みについての話をまとめて聞くことができる場所は、この全国大会以外にはない。

医療経営士による演題発表はもちろん、座談会やトークセッションでも「実践」に重きを置いた内容となっているからこそ、「学んだつもり」で終わらず、翌日からの自身の仕事に活かせるヒントを見つけることができる。

昨年の大会参加者からは、「地域医療連携についての演題発表から、自身の仕事でどのように活かせるのかを考えるきっかけをもらった」「業務改善は忙しいときこそやるべきだという意見を聞き、考え方が変わった」など、実際に行動変容につながったという声が多く聞かれた。実際、参加者アンケートでも約8割の方が自身の仕事との関連性を感じている(図)。

昨年、人材育成の取り組みについて演題発表を行った日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の福田徹氏は、受賞後のコメントのなかで「経営学を専門としない職員でゼロから立ち上げた取り組みだったので、『私たちがやっていることは価値のあることなのだろうか』という不安を感じていた」と述べている。

「実践」につながる内容が明日からの働き方を変える医療経営士の全国大会における最大の特長といえ、現場ですぐにでも実践できるノウハウを学べることだろう。病院の経営部門の最前線で活躍している医療経営士から、具体的な取り組みについての話をまとめて聞くことができる場所は、この全国大会以外にはない。

WEBならではの利便性と生配信の臨場感を融合

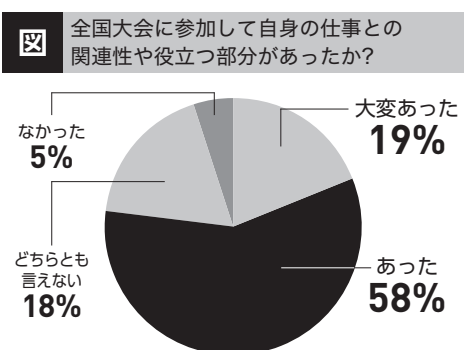
WEB大会の一番のメリットは、どこからでも参加でき、自分の都合に合わせて、何度でも視聴できること。昨年の大会後も、参加

い、審査委員奨励賞を受賞した日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院の福田徹氏は、受賞後のコメントのなかで「経営学を専門としない職員でゼロから立ち上げた取り組みだったので、『私たちがやっていることは価値のあることなのだろうか』という不安を感じていた」と述べている。

「不安」に共感を覚える方も多いのではないだろうか。医師をはじめとする専門職の集団のなかで、自分が行っていることに自信が持てないと思うかもしれない。しかし、医療経営士として学んできたことを土台にして「病院経営にとってプラスになる」と考えたのであれば、それは実践する価値のある取り組みであるはずだ。ぜひ自信を持って取り組んでいただき、その自信を得るためにも大会に参加して、すでに一歩踏み出している全国の医療経営士の姿から勇気をもらってほしい。

「不安」に共感を覚える方も多いのではないだろうか。医師をはじめとする専門職の集団のなかで、自分が行っていることに自信が持てないと思うかもしれない。しかし、医療経営士として学んできたことを土台にして「病院経営にとってプラスになる」と考えたのであれば、それは実践する価値のある取り組みであるはずだ。ぜひ自信を持って取り組んでいただき、その自信を得るためにも大会に参加して、すでに一歩踏み出している全国の医療経営士の姿から勇気をもらってほしい。

「不安」に共感を覚える方も多いのではないだろうか。医師をはじめとする専門職の集団のなかで、自分が行っていることに自信が持てないと思うかもしれない。しかし、医療経営士として学んできたことを土台にして「病院経営にとってプラスになる」と考えたのであれば、それは実践する価値のある取り組みであるはずだ。ぜひ自信を持って取り組んでいただき、その自信を得るためにも大会に参加して、すでに一歩踏み出している全国の医療経営士の姿から勇気をもらってほしい。



された多くの方から「WEB開催を継続してほしい」という声をいただき、なかには「WEB開催だったので初めて参加してみたが、演題発表の内容がすばらしく何度も視聴した」といった感想もあった。

昨年は開催期間中に1000人を超える視聴者があり、過去の大会を含め最も多くの方に参加していただいた。自身のスタイルの合わせた方法で、気軽に参加していただきたい。

また、昨年に引き続き生配信のイベントとして開催される「医療経営士思考塾」に加え、今大会では新たに大会委員長で演題発表の審査委員長を務める吉長成恭氏を座長に迎え、演題発表者によるライブディスカッションも行われる。双方向で意見交換のできる企画となっているので、こちらも楽しみにしていただきたい。

第11回

全国医療経営士実践研究大会 WEB大会

WEB大会

開催期間

2022年

11月1日(火)

▶30日(水)

【大会テーマ】

病院経営は新たなステージへ!

医療経営士の職域確立
からはじまる人材革命

参加エントリー／演題発表登録
特設WEBサイトにて受付中!

大会運営委員長 | **吉長成恭** 甲子園短期大学特任教授、教育研究センター長／一般社団法人日本医療経営実践協会参与

【事務局】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutai/>



石井富美氏
多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長

強みを活かして 医療経営士の職域拡大へ!

昨年好評を博した「医療経営士 思考塾」が今年も開催される。座長を務める石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)に、医療経営士へのメッセージをいただいた。

病院経営に貢献できる 医療経営士の強みとは

医療経営の課題として最近顕著になってきたのは、少子高齢化による働き手不足です。この傾向は今後も続くことが予想されていますが、そのなかで医療経営士は何をすればよいか。業務効率を上げるためのアクションはもちろんですが、これから病院経営を持続していくための新たな展開を考えていくことも重要なミッションとなります。

医療経営士の皆さまの強みとして、横のネットワークがあると思います。医療専門職は病院の外に出る機会が少なく、外から情報を持って来ることは難しいのが実情です。医療の世界は企業間の競合関係とは異なり、「地域の医療を守る」という共通の目的を持った連携関係があります。良い取り組みはお互いに教え合い、ノウハウを共有する。地域全体のヘルスケア基盤を守っていくという役割があるからこそ、医療経営士の持つ横のネットワークに期待される部分が多いの

です。「あの病院の取り組みは当院でもできるのではないか」という視点を持って情報を収集し、積極的に取り入れていくことができます。医療経営士の存在はますます大きなものになるはずです。

事務職の方も医療分野に積極的に入ってきてほしい

一方で、病院の中に目を向けると、働き方改革でも求められているタスクシェア・タスクシフトがなかなかうまく進まない、という話も聞きます。ある病院の事例ですが、さまざまな委員会活動の議事録を薬剤師や管理栄養士などの専門職が書いているというケースを伺いました。なぜ事務部門にタスクシフトできないのかを専門職側に尋ねてみると、「現場の運用や専門用語等が多く、事務職の方では書きにくく、修正や補足の説明をする時間を考えると、自分でやったほうが早い」という答えが返ってきました。

期待される部分が多いの

いなど感じました。

専門職の側にも、事務職側にも丁寧な説明しようという意識を持っていただくことが大切ですが、事務職側も医療分野に関心をもち、自ら調べ、学ぶ姿勢を見せることも重要だと思えます。

病院全体の事務作業的な部分を事務部門が一手に引き受けることができれば、情報の集約もできますし、業務効率化、業務改善のヒントも見えてきます。医療現場の方々の業務改善にだけ自分たちが貢献できるかという視点を持っていくことが、医療経営士の職域を拓いていくことになるのかな、とも考えています。

せっかく病院という場所に勤めているのですから、事務職の方にも医療現場の仕事にもっと入ってほしいですし、もし不安を感じている方がいるようでしたら、医療経営士が関わって、同じ事務職員として働きかけていただきたい。そこをつなぐ役割も、医療経営士の大切な役割ではないでしょうか。

積極的に参加することで 新たな気づきを得る機会に ようか。

今、現場で困っていることがあればこの機会にどんな質問していただきたいと思えます。質問事項を探してみてもいいかもしれません。他院からの質問を聞くことも、「どこ考えたことなかった」という新しい気づきが得られるはずですよ。

逆に「当院はもっとうまくやっているな」という話があったら、それはぜひ事例として報告していただければと思います。自院で当たり前にやっていることが、他院にとって参考になることも多いからです。

生配信ですのでこちらが一方的に伝えるのではなく、双方向なイベントにしたいと考えています。ぜひ視聴者としてだけでなく、セッションの参加者のつもりで楽しんでいただきたいです。皆さまのご参加をお待ちしております。

スペシャルトークセッション 「医療経営士 思考塾」

11月8日(火)
15:00~16:00

※Zoomによる生配信、
アーカイブ配信あり

座長

石井富美氏
(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)

出演

- 内田 力氏
(社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院事務部副部長/医療経営士3級)
- 小川 卓氏
(医療法人財団献心会理事・事務局長/医療経営士2級)
- 佐竹直也氏
(医療法人松田会松田病院事務部長/医療経営士2級)
- 横田泰洋氏
(医療法人社団悠翔会法人本部本部長代理/医療経営士1級)

月刊医療経営士

次代を担う
医療経営人財を
サポートする
「医療経営士応援マガジン」

特集

計画を立てて終わっていませんか?

目標を達成に導く 評価指標の作り方

10月号
好評発売中!!

- 石井富美先生執筆の「MMS WOMAN LAB」好評連載中!
- 「教えて! 医療経営士の育て方」には医療法人社団悠翔会が登場!

詳細ご購入
はコチラ



「医療に関わる人の幸せ」にフォーカスを当てた「もっと幸せな医療研究会」が旗揚げ!

第1回プログラム

講演1 もっと幸せになるための3つの観点とは



豊島 久雄
(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所)

講演2 チームを幸せにするリーダーの行動



福田 徹
(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院救急科)

講演3 パフォーマンスの停滞をどう乗り越えるか——組織のパフォーマンスを上げるコーチングの力



シュナック 千賀子
(スリーロック株式会社取締役コーチングファシリテーター)

全国13番目の自主研究会として誕生した「もっと幸せな医療研究会」(代表:豊島久雄氏)。その記念すべき第1回が8月18日(木)、「明日から楽しく働くための3つの知恵」と題してオンライン開催された。企業人、医療従事者、コンサルタントそれぞれの多角的視点に基づく講演が行われ、「幸福度」をキーワードに、真の意味での働き方改革にもつながる新たなコンセプトが提示された!

医療従事者は「幸福度」が低いと感じる傾向がある?

印象論の部分もあるが、医療従事者は他の一般職種に比べ、「幸福度」が低いと感じる傾向があるようだ。定性的な「幸福度」をいかに定量化し、コーチングやリーダーシップを用いた介入によってその満足度を上げ、みんながもっと幸せになれる環境をつくれなにか? というのが研究会設立の出発点だ。詳細は豊島久雄氏によるコメントをお読みいただきたい。

強まってきたと報じる新聞記事を紹介。さらに、幸福度が高い従業員は創造性や生産性が高く、若年層を中心に自身の幸福を追求できる職場環境を求める傾向が強まっていること、企業はヒトを管理対象としての資源と見なすのではなく、良い環境と機会を提供すれば自律的に価値を高められる「人的資本」と見なすことが重要と指摘した。

加えて、主観的幸福度の高い人はそうでない人に比べて創造性は3倍、生産性は31%、売上は37%高い傾向にあり、転職率・離職率・欠勤率がいずれも低いとのデータを上げ、反対に、幸福度が低いとコスト増につながると説いた。

パフォーマンス向上の鍵はリーダーシップとコーチング

続いて福田徹氏は、「働く人の幸せは、組織・仕事に対するポジティブな行動を促すとともに、個人・組織のパフォーマンスを高める」との実証研究を紹介。チームを幸せにするリーダーの行動として、①メンバーが「幸せ」と感じる理念・ビジョンを掲げる、②エンパワメントとして、特に「相手を知る」、③モチベーションに報いることができるインセンティブを与える、の3つが求められるとともに、細やかな心づかいが必要と指摘し、皆が幸せに働き、高い成果を上げるチームの作り方を解説した。

一方、シュナック千賀子氏は、まずリーダー、マネージャー、コーチそれぞれ

の役割の違いに触れ、「コーチはリーダーとマネージャーのギャップを埋める存在」と言及。パフォーマンスは、自己の信念に合わせ規定・形成・制限され、コーチングは、その信念の境界を広げる手助けを行うものと説いた。その鍵は、教え込むのではなく、相手に考えさせる「いい質問」を行うこと、即座に適切なタイミングで、褒めてもらったという「プチ成功体験」を積み重ねさせること、一緒に悩み・喜ぶ応援団として寄り添い、到達できる実力よりちょっと上の課題を提示し、達成に向けたマイルストーンを整備する大切さについて解説した。

2024年度改正医療法施行に向けて、医療現場の働き方改革が迫られている。当然のことながら、問われるべきは労働時間(量)だけでなく、その中身(質)だ。生産労働人口の減少に伴う全産業間における人材争奪の中で、医療界が働く場としていかに魅力を向上させ、労働生産性を高めることができるのかは、持続的・安定的な医療提供体制・医療経営基盤を築くうえで喫緊かつ不可避な課題と言える。その答えの1つとなるのが「幸福度」ではないか。研究会活動の今後の展開に期待したい。

「もっと幸せな医療研究会」代表・豊島氏コメント

●研究会の趣旨・意義、設立の動機

医療は教育とともに人々を支え国を発展させるための最も重要な社会基盤を形成するものです。そのため私自身は、医療従事者の社会的な「幸福度」は高いと思っていました。

しかし、私の過去の顧客であった医療機関の医療従事者が消耗しており、元気がない現実を目の当たりにしました。日本の医療経営において、ハード面では国民医療費の増大、世界最多の病院数・病床数や薬剤師数、コンビニより多い薬局数、世界第2位の受診回数と課題は山積しています。ソフト面の課題として医療従事者の幸福度が低いのではないかと仮説に基づき、本研究会「もっと幸せな医療」を設立しました。

「医療に関わる人の幸せ」にフォーカスを当て、病院職員、医薬品・医療機器関連の職員、患者・家族、その他すべてのステークホルダーが、昨日より今日、今日より明日を幸せに感じるために何ができるのかを考える研究会です。参加者の多様性も高く、地域性も広いのが特徴です。

●第1回開催の反響・手応え

8月18日(木)に開催し、多様な方々にご参加いただきました。研究会終了後も多数の参加者が残り、ディスカッションが30分以上も続きました。医師である福田さん、コンサルタントの千賀子さん、豊島の3名による異なる目線でのアプローチが、バランスと多様性が良かったとの評価をいただきました。当日は、豊島開発の「MHC-SF 幸福度診断心の幸福度を測るものさし」(診断時間:2分) <http://mottoshiawase.com/>の使い方のセッションも好評でした。

●今後の方向性・将来計画など

第2回は12月14日(水)19時より、「レジリエンス」(resilience: 復元力、回復力、弾力=しなやかな強さ)をテーマに開催の予定です。本研究を通して、幸せのクラスターチェーンの構築を目標に研究会を設計します。

セミナー型、参加型の定期的なオンライン開催に加え、年1回のリアル開催も予定しております。特に、医療従事者の中でも女性、中小規模の病院・企業に対するフォーカスも考えております。無意識に前向きに「幸せ」を実感できる研究会を目指しますので、皆様のご参加をお待ちしております。

事務局掲示板

知っておきたい「医学の基礎知識」を DVDとテキストで効果的に習得できる 「医療経営士」基礎力UP講座

当協会では医療経営士として知っておきたい医学の基礎知識を効果的に学べる「基礎力UP講座」を開講しています。テキストとDVDを通して事務職や他業種の方が、医療専門職との連携やコミュニケーションにおいて必要不可欠な医学知識や医療用語を平易かつ効果的に学習できる仕組みになっています。詳細はホームページにてご確認ください。

【日本医療経営実践協会「基礎力UP講座」】

[http://www.jmmpa.jp/
support/tsushin/up/](http://www.jmmpa.jp/support/tsushin/up/)
TEL:03-3553-2862



第11回全国大会ポスターが完成しました 掲示していただける会員の方を募集中!

第11回「全国医療経営士実践研究大会」WEB大会のポスターが出来上がりました。本ポスターを掲示していただける会員の方を募集します。ご希望の方は「全国大会ポスター希望」と件名をつけ、お名前、認定登録番号、送付先住所、電話番号、必要枚数を明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。

【ポスターのお申し込み】

E-mail:info@jmmpa.jp



PICK UP 研究会

10/14 東北支部

第12回 みやぎ仙台ネットワーク

「仙台医療圏の状況を踏まえたこれからの医療経営」

宮城県の医療経営士が主体的に活動し、医療経営士同士の横のつながりをつくること、「県内1病院1医療経営士」の育成を目指している「みやぎ仙台ネットワーク」。第12回は、千葉大学医学部附属病院副院長、病院経営管理センター長・特任教授の井上貴裕氏を講師に招き、社会背景から医療職、医療機関数など、仙台医療圏の状況を踏まえたうえで、これから求められる医療経営について学ぶ。

- 日時
10月14日(金)18:00～19:20
- 開催方式
オンライン(Zoom)
- 参加費(税込)
無料
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会東北支部
TEL:022-281-8536(三浦)

11/19 関西支部

“イチ”からわかる病院経営オンライン塾(全5回)

第1回「病院経営を取り巻く環境を学ぶ」

関西支部では11月より、病院経営に関する正しい知識を身につけることを目的として、「イチ”からわかる病院経営オンライン塾”(全5回)を開催する。

講師はこれまでも医療経営士に向けてさまざまな講義を行ってきた、有限責任監査法人トーマツの古株靖久氏。毎月第3土曜日を開催日として、2023年3月まで開催される。各回90分間の講義とディスカッションが行われ、1回ごとの参加も可能。

- 日時(第1回)
11月19日(土)14:00～16:00
- 開催方式
オンライン(Zoom)
- 参加費(税込)
1回2,000円
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会関西支部
TEL:06-7660-1761(谷田川)

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
10月8日(土)	関西	病院経営オンラインセミナー 「公立病院経営強化ガイドラインから考察する できる病院の中期経営計画の作り方」	古株 靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)
10月14日(金)	東北	第12回 みやぎ仙台ネットワーク 「仙台医療圏の状況を踏まえたこれからの医療経営」	井上 貴裕氏(千葉大学医学部附属病院副院長、病院経営管理センター長・特任教授、ちば医経塾塾長)
10月20日(木)	関東	第10回 ちば研究会 タイトル未定	山田 智氏(医療法人社団日敏会 浜野長嶋内外科経営企画室 室長/ 医療経営士2級/ちば研究会事務局)
10月29日(土)	関西	第30回 関西医療経営勉強会 「医療に関わる3者の関係を良くするために ～購買交渉時のお互いの思い～」	寺島 大悟氏(香里ヶ丘有恵会病院 手術室師長 購買課/医療経営士1級) 藤本 修平氏(石黒メディカルシステム株式会社メディカルソリューション 事業室 主任/医療経営士2級) 福井 泰志氏(株式会社リブドゥコーポレーション 経営企画室 広報課課長/ 医療経営士2級)
11月19日(土)	関西	“イチ”からわかる病院経営オンライン塾(全5回) 第1回「病院経営を取り巻く環境を学ぶ」	古株 靖久氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

オンライン開催

混迷の時代の乗り越え方を、さまざまな角度から議論しよう!

一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会 創立10周年記念

介護福祉経営士全国会議2022

混迷の時代を乗り越える“介護福祉経営士”——マネジメント力と組織力を向上させる職域を考える

開催概要

- 日時:
▶「特別講演」&「基調講演」配信期間…2022年11月11日(金)～30日(水)
▶「全国会議」ライブ配信…2022年11月25日(金) 14:00～16:00
- 参加費(税込):
会員2,000円/一般3,000円

- プログラム:
[特別講演] 宮島俊彦氏(兵庫県立大学客員教授/元厚生労働省老健局長)
[基調講演] 廣江 研氏(社会福祉法人こうほうえん会長/協会中国支部長)
[全国会議] (司会) 青木正人氏(株式会社ウエルビー代表取締役/協会理事)

特設WEB
サイトにて
参加受付中!

QRコードより協会ホームページ内にある特設ページからお申込みください。➡

【お問い合わせ先】一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 ☎03-3553-2896 <http://www.nkfk.jp>

